

高速バス「WILLER EXPRESS」、2026年GW予約動向発表 関東発着路線は前年同期比110%! 万博後の「地方分散」と「後半全集中」が鮮明に

WILLER EXPRESS 株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役:平山幸司)は、2026年ゴールデンウィーク(2026年4月24日(金)~5月6日(水))における高速バスの予約動向をまとめました。昨年、大阪・関西万博の影響により「大阪一極集中」の傾向が見られましたが、今年は地方都市への目的地分散が見られます。また、今年は日並びの影響により連休後半への予約集中が顕著となっており、需要が特定日程に偏る傾向が見られます。

<2026年ゴールデンウィーク期間 高速バス「WILLER EXPRESS」の予約動向 概要>

【対象期間】2026年4月24日(金)~2026年5月6日(水)の13日間

【調査時点】2026年4月3日(金)

【高速バス予約動向トピックス】

○日並びの影響により、5月5日(火)・6日(水)の予約数が前年同期比180%超。4月27日(月)~5月1日(金)が「分散旅行」の狙い目

○全体の予約数は前年同期比95.2%。大規模イベント特需の反動による「需要平準化」の中でも堅調に推移

○路線別では、関東⇄新潟(前年同期比187%)、関東⇄宮城・福島(同142%)、関東⇄富山・石川(同142%)などの中距離路線が好調

■【日並びの偏り】連休後半(5月2日~6日)に予約集中、最大で前年同期比約1.9倍に

今年のゴールデンウィークは前半が飛び石連休となっている影響で、需要が5月2日以降の5連休に集中しています。4月24日~30日の予約数は前年同期比で88.1%にとどまる一方、5月1日~6日は同104.4%と増加しています(表1参照)。特にUターンラッシュにあたる5月5日・6日の予約数は、前年同期比でそれぞれ181%、188%と、驚異的な伸びを記録しました。一方、連休中日(4月27日~5月1日)は比較的空席があり、混雑を避けた「分散旅行」のねらい目となっています。

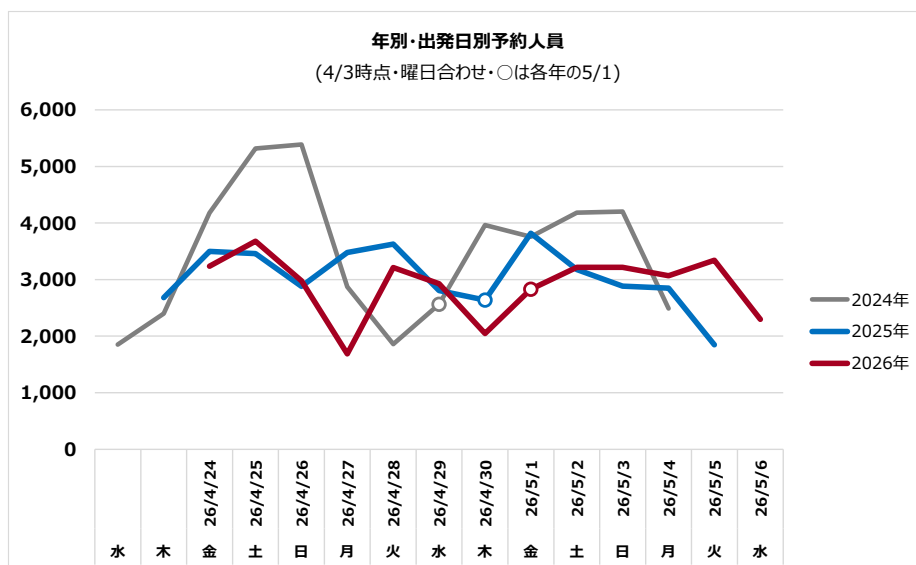


図1 年別・出発日別予約人員

全路線

4/3時点	4/24~30	YoY	5/1~6	YoY	総数	YoY
2024年	23,870		21,157		45,027	
2025年	22,432	94.0%	17,209	81.3%	39,641	88.0%
2026年	19,765	88.1%	17,966	104.4%	37,731	95.2%

表 1 2024~2026 年 GW 期間中の予約人員

■【目的地シフト】大阪一極集中から、新潟・金沢・仙台など「地方中距離」へ

2025 年の大阪・関西万博閉幕後、初のゴールデンウィークとなる今年は、旅行先の多様化が進んでいます。関西発着路線は前年同期比 85.6%にとどまる一方、関東発着線は同 109.8%と大きな伸びを記録しています(表 2 参照)。中でも、新潟、仙台、金沢、長野といった地方中距離路線で予約が増加しています。新潟は大型のライブ・コンサートの影響とみられ、「遠征」需要の強さが継続しています。一方で、金沢・仙台・長野はライブ・コンサートに起因せず予約が大幅に伸びています。これらの路線では関東在住のお客様の予約が増加しており、昨年は大阪・関西万博に集中していた旅行需要が地方へ分散した様子がうかがえます。特に金沢は、北陸新幹線延伸から 2 年が経過し、観光インフラが成熟したことで、近隣の富山・福井を含めた「北陸広域観光」のハブとしての役割が定着しています。また、都市部を中心とした宿泊費高騰を背景に、高速バスによる深夜移動と現地滞在を組み合わせ、限られた予算を宿泊ではなく「その土地ならではの食体験や伝統文化」へ重点的に配分する『メリハリ消費』の傾向が鮮明となっています。

関東発着路線(関東⇔関西以外)

4/3時点	4/24~30	YoY	5/1~6	YoY	総数	YoY
2024年	12,595		9,698		22,293	
2025年	11,072	87.9%	8,143	84.0%	19,215	86.2%
2026年	11,342	102.4%	9,765	119.9%	21,107	109.8%

関西発着路線(関東⇔関西以外)

4/3時点	4/24~30	YoY	5/1~6	YoY	総数	YoY
2024年	4,543		4,034		8,577	
2025年	5,755	126.7%	4,577	113.5%	10,332	120.5%
2026年	3,962	68.8%	4,879	106.6%	8,841	85.6%

表 2 関東発着路線と関西発着路線の比較

路線名	2025年比	備考
1 関東⇔新潟	187%	ライブ要因
2 関東⇔富山・石川	142%	
3 関東⇔宮城・福島	142%	
4 関西⇔新潟	135%	ライブ要因
5 関東⇔長野	127%	

表 3 前年同期比が大幅に伸びている上位 5 路線

■【宿泊代替需要】ホテル高騰による「夜行バス回帰」、「海外断念層」の国内シフトも

全国的なインバウンド需要の継続によるホテル価格の高騰を背景に、深夜移動で 1 泊分の宿泊費を節約できる「夜行バス」の価値が再評価されています。また、「海外旅行の駆け込み需要」が報じられる一方で、高額な燃油サーチャージや円安の影響により海外を断念した層が、直前期に国内旅行へ切り替える動きも見られます。特に、東京から数時間でアクセス可能な「ちょうどいい距離」の地方都市への予約を押し上げています。

■販売担当者よりコメント:

昨年は万博という一つの目的地に需要が集中しましたが、今年は「自分の好みに合わせて賢く楽しむ」分散型の旅行スタイルが主流となっています。特に、高速バスはホテルの価格変動に左右されにくく、移動と宿泊を兼ねる「動くホテル」としての価値が再評価されています。現地での体験に予算を使いたい若年層やリピーターにとって、有力な選択肢となっています。ゴールデンウイーク後半の5連休は既に満席に近い便も出ていますが、前半や中日においては、お得な運賃での利用が可能です。

WILLER EXPRESS は、今後もバス業界の発展に貢献していくため、定期的なアンケート調査を通じて利用者の実態とニーズを把握し、お客様目線の安心・安全なサービスの提供に取り組んでまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

WILLER 株式会社 パブリックリレーションズオフィス TEL:050-1745-0840 MAIL:koho@willer.co.jp (担当:鈴木/加藤)